

<対策のポイント>

地域の産業動物獣医師への就業を志す獣医大学への地域枠入学者・獣医学生に対する修学資金の貸与、獣医学生を対象とした臨床実習、女性獣医師に対する就業支援等により、**産業動物獣医師の育成・確保を図ります。**

<政策目標>

地域における産業動物獣医師の育成・確保

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 修学資金の貸与による就業の誘導[拡充]

- 地域における産業動物獣医師への就業を志す獣医大学への地域枠入学者※・獣医学生を対象として、大学入学後に**私立学生月額18万円・国公立学生月額10万円**を上限とする修学資金（最長6年間）と入学時の納付金（入学金等）に相当する**修学資金を貸与**します。

※：獣医系大学が設定する、地域の産業動物獣医師に従事する意志を持った学生の選抜枠です。

2. 獣医学生の臨床実習と獣医師の技術向上[拡充]

- ①（獣医学生対象）産業動物診療や家畜衛生行政についての臨床実習等を実施。
- ②（獣医師対象）産業動物分野における**管理獣医師育成のための長期研修等**、現場で必要とされている知識・技術向上のための卒後研修等を実施。

3. 女性獣医師等の産業動物分野への就業支援

- ①（女性獣医師等対象）職場復帰・再就職に当たって、最新の知識の習得や獣医療の技術の向上を図るための研修を実施。
- ②（雇用者対象）女性獣医師の就業に対する理解を醸成するための講習を実施。
- ③（獣医学生対象）将来の就業先について考える機会を提供するセミナー等を実施。

4. 情報通信機器を活用した産業動物診療の効率化[新規]

- 離島等の獣医療提供体制の効率化が求められる地域をモデルとして**情報通信機器を用いた診療の試行的な導入等**を実施。

<事業の流れ>

